事業番号	02 08 07	事業改善シート(25年度実施事業分)	口予算要	東求	口当初予算案	☑ □補正予算案 ■点検	
事業名	地域活性化推進事業費				部局	企画振興部	
尹 未 石			担当	課∙室	地域振興課		
総合5か年 計画	プロジェクト	6-2-3 誇りある暮らし実現プロジェクト		課	E-mail	shinko@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	2-1 魅力ある地域の創造と発信					
	旭泉の総百町政用	3 元気ある地域づくりの促進	実施期			S45頃 ~	

1 事業の概要

_	1 事業の	概要									
	目指す姿	過疎地域を含めた県内の各地域で、地域づくりのリーダーとなる人材が育ち、その人材や地域住民、市町村による魅力ある地域づくりに向けた活動が展開されることにより、誇りと自信が持てるような活力ある元気な地域社会の構築を目指す。									
	現状	○「地域発 元気づくり支援金」等によって広がった地域づくり団体の活動をより一層活発化させるとともに、地域のリーダーを育成するため、情報提供や研修・交流事業の実施が引き続き必要 ○過疎地域では、人口減少、少子高齢化が進み、過疎地域以外の地域と比較すると65歳以上人口の構成比が約10%高い。また、過疎市町村の財政力指数の平均(0.25:平成23年度)は、県内市町村の平均(0.40)と比較して0.15も低い									
	県が関与 する理由	県関与の必要性あり									
I		① 成果目標(H25)									
I		地域づくりネットワーク県協議会加入団体数の増加									
ı		② 事業内容	1/4H/ (E)	11/20/276/96			()	単位:千円)			
ı		7,313,312		法 H25事業実績		Н	H26				
ı		項目	実施方法			(当初) (決算)		(当初)			
	事業内容	県内の地域づくり団体の交流の促進、リーダの取組を行う協議会に対し、負担金を支出 【県が事務局となり、下記の事業を実施】 ○情報収集・提供事業 情報誌の発行、インターネットによる情報発 全国研修会等への参加支援 ○研修・交流事業 やまびこフォーラム(協議会主催の研修・交 の開催、県内10地方事務所単位で支部を言 研修・交流事業を実施、メーリングリストの設 る団体相互の情報交換の促進		登信、 交流会) を設置し、	260	260	260				
		2. 地域活性化センター運営 負担金	負担金	地域社会の活性化のための諸活動を支援する目的で 設立されたセンターに対し、負担金を支出		900	900	900			
		3. 全国過疎地域自立促進連盟負担金	負担金	全国の過疎地域が連携して過疎対策事業の充実強化 を図ることを目的に設立された連盟に対し、負担金を 支出		683	683	683			
I		4. その他地域活性化推進経費 直接 職員の旅費、事務消耗品等				1,167	1,078	1,186			
		5. 元気な地域づくり人材育成事業	直接	_	_	_	2,406				
I					合計	3,010	2,921	5,435			

	×	区 分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26年度
	-	前年度繰越					
	予質		当初予算	3,757	3,110	3,010	3,029
事	算額		補正予算				
業			合計(A)	3,757	3,110	3,010	3,029
~	コ Aの		国庫支出金				
コ			県 債				
7	財源	亰	その他()				
ス			一般財源	3,757	3,110	3,010	3,029
۲	決		算 額(B)	3,040	3,006	2,921	
	概	算		1.30	1.30	1.30	1.30
	人作	‡費	概算人件費 (C)	10,735	10,735	10,735	10,735
	概算	拿事	業費(B(A)+C)	13,775	13,741	13,656	13,764

成果目標の達成状況								
項目	H24末		H26					
(共日	(実績)	目標	成果	達成状況	目標			
地域づくりネットワーク 県協議会加入団体数	137	増加	141	達成	増加			

目標に対 する成果 の状況

地域づくりネットワーク長野県協議会への加入団体数が増加するとともに、協議会全体の交流事業として開催した「やまびこフォーラム」には地域づくり団体等から201人が参加し、研修及び団体相互の交流を促進することができた。

2 今後の事業の方向性

今後、事業 をどのよう にしていき たいか □ 事業を実施しない ■ 事業を見直して実施 □ 事業を現行どおり実施

地域づくりの主体的な活動のすそ野を広げ、地域づくり団体の活動をさらに活発化させるため、情報提供や研修・交流事業の支援を実施していくとともに、地域づくり団体による、より自主的・主体的な運営に向けて、引き続き協議会の活性化を図っていく。 また、フィールドワークを中心に実践的に学ぶ講座や地域おこし協力隊員の活動ステージに応じた研修等を通じて、地域づくりに取り組む人材の確保及びリーダーの育成を推進していく。